

2022年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	越前市の北部に位置し、併設事業には、デイサービス、認知症対応型デイサービス、訪問介護、居宅介護、地域包括支援センターがあります。地域との繋がりを大切にすることを重視し、地域支援として、認知症カフェや地域との祭り、家族会なども開催しています。『あなたらしさいつまでも』を介護理念とし、生協10の基本ケアのケア方針を通じて、その人らしい生活を取り戻してもらうための支援を行いながら、“普通の暮らし”を取り戻す支援を目指します。地域の方も協力的で区長、老人会、民生委員との連携もとれています。地域の防災訓練、社会奉仕などの参加や近くの高校と、毎年、交流学习も実施しています。
事業所名	県民せいきょう小規模多機能ホーム 丹南きらめきハウス	管理者	木谷 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	1人	0人	5人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画(2023年度)
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、ご家族や地域の方に事業所の取組みが把握できるように、広報誌の記載や、SNSでの発信をしていく。 また、改善計画を意識して取り組めるよう、必要な項目で担当を決めて具体的に取るようにする。	ハウスでの取組みについて、広報誌の記載や SNS での、外部への発信を行なった。 事業所自己評価の改善計画について、取組みがなされていない項目もあった。	・職員の名前は記入されているが外部から見て常勤なのか、全員なのかは分からない。 ・A～Fに対して具体的な数値目標に対して結果を数値で出しては(何件中〇〇件実施、〇〇人中△人参加とか) ・意見も多く真剣に取り組んでいることが分かりました。 ・クリアできそうな目標(年に一回とか1人一個とか)を立ててもよいと思います。 ・すべてが利用者—スタッフ利用者家族—スタッフのコミュニケーションの度合いで決まるように感じました。	引き続き、ご家族や地域の方に事業所の取組みが把握できるように、広報誌の記載や、SNSでの発信をしていく。 また継続して改善計画を意識して取り組めるよう、項目について担当を決めて具体的に取るようにする。 また、第3者が見ても分かるように数値化で表す
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染症予防の為、密にならない工夫をする。また、利用者の意見を聞きながら、個々にくつろげる場の提供をしていく ・施設見学ツアーは、リモート開催を検討する。 ・分かりやすく館内の案内板を作成する	1テーブル2人ずつ座ってもらうので、相性のいい方同士で居られるよう工夫したり、テーブルの配置を工夫したりして密にならないよう心掛けた。 ・感染予防のために施設内の見学は企画していないが、利用前のカンファレンス時にはパンフレットや施設内の写真をお見せして雰囲気伝わりやすいよう工夫している。 ・施設見学のリモート開催や館内の案内板の作成は出来ていない。	・リモートでの施設見学、分かりやすい館内案内板の作成が出来ていないのは残念である。 ・感染対策が必要である為難しいと思う。 ・私は入りやすいですが、地域の方はどうでしょうか？	・利用者が個々にくつろげるような環境作りや、感染症予防の為、密にならないような工夫をして心地よく過ごせるようにする。 ・新規のカンファレンスの時などに間取り図や写真を使用して雰囲気が伝わりやすいように説明する。 ・幅広く周知する(動画作成など)
C. 事業所と地域のかかわり	感染予防に気を付けながら、可能と思われる地域イベントなどに利用者と共に参加していく。 独居の方と地域の方とのつながりを大事にし、連携して支援を続けていく。	・感染症拡大予防の為に多くの各イベントが中止になり、利用者の参加は難しかったが、地域の防災訓練には利用者も一緒に参加した。 ・独居利用者と地域の方との関係が途絶えない様、支援をした。	・地域の方が小規模多機能型サービスについて理解が出来るような取組みが出来るとよいと思う。 ・新規施設も(デュオ)も出来より相談しやすくなるのではと思います。 ・地域の行事イベントに具体的に参加されている報告がなかった。 ・運営推進会議内でも報告していただいています。	継続して感染対策行いながら、地域イベントなどに利用者と共に参加していく。 独居の方と地域の方とのつながりを大事にし、連携しながらその人の在宅生活の支援を続けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者から行きたい場所やイベントの声が上がったら、企画していない事でも臨機応変に取り入れ対応し、外出の機会を増やしていくとともに、ご利用者にまんべんなく思いを叶えてもらうことができる様な企画をする。	利用者に何がしたいかの聴き取りをし、それを目標に実現できるよう関わりを持った。その時々に行きたいところを聞き取りながらドライブを企画したりして多くの方に外出の機会を持って頂いた。	・利用者の行きたい所を引き出してドライブ等に行けるのは良い。 ・外出、クラブ活動等様々な事に取り組まれていると思います。 ・菊人形等に連れ出してもらえるのは有難い。 ・地域の行事イベントに具体的に参加されている報告がなかった。 ・利用者様の介護度に合った地域参加であり、私の場合は歩けないので参加できない ・利用者以外の方へのかかわりについて報告がなかった。	本人の想いを引き出し、利用者から行きたい場所や、やってみようという声をもとに臨機応変に活動を取り入れ、外出の機会を増やしていくとともに、ご利用者の想いを叶えてもらえる様にする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・感染拡大予防を考えた開催をする。 ・介護についての学習会を計画する。 ・開催日時を工夫し、出来るだけたくさんの方に参加してもらう。	開催曜日・時間について色々試したり、利用者にも声掛けをしたりして、参加して頂いた。 映画会との合同開催をして多くの方に参加して頂いた。 イベントなどは重ねない通常の場合は決まった方の参加に留まった。	・事例検討は行なわれていなかった。 ・利用者の不安や悩みには十分取り組まれていると思いますが、地域の方は分かりません ・コロナ禍の為難しい面もあると思う。	・感染拡大予防を考えた開催をする。 ・家族から参加しやすい日の聞き取りをし、たくさんの方に参加してもらえるように工夫をする。
F. 事業所の防災・災害対策	・災害福祉計画の全員の理解、把握を確認し、訓練当日も落ち着いてそれぞれに役割が果たせるように備えていく。 ・感染状況に応じて地域の方やご家族に参加して頂く ・消防署に相談し、消防地域の消防団との連携を図る。	・災害福祉計画の全員での共有の場は持てなかったが、個々に紙面での確認する形をとった。 ・訓練では役割を決めて臨み、前回の反省を踏まえ、速やかに避難出来た。 ・地域の消防団との連携は取れていないが、事業所として丹南きらめきを一時避難所にとのご要望があり、お応えした。	・地域の訓練については把握していません。 ・見学等での参加または連絡訓練での参加は出来るのでお声かけください。	・災害福祉計画の全員の理解、把握を確認し、訓練当日も落ち着いてそれぞれに役割が果たせるように備えていく。 ・感染状況に応じて地域の方やご家族に参加して頂く。